

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス 笑顔		令和8年6月11 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		一日の利用定員に対して、十分なスペースがあると思っています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員数は3名以上の人員を配置しています。	曜日や活動状況によっては、少ないときもありませんが、活動内容等によって、職員配置ができるように検討いたします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		安全に利用できるように、手すりなどの設置をしています。	個別対応に関しては、どうしてもスペースが取れない場合があります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		子どもたちが気持ちよく利用できるように、毎日の清掃は欠かしていません。	今後は、クールダウンのスペースや音楽などの活用などをしていきたいと思っています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		体調不良時や情緒不安定時等対応できる部屋があることを伝えています	部屋数が限られているため、場面によっては対応できないときもあります
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		活動の前後などで職員間で話し合いを行っている。	常勤職員だけでなく、多くの職員が情報や意見を言えるように、取り組んでいく
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		帰りの送迎時や来所時にできるだけ場を設けている。	保護者の意見を把握し、対応していきたい
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今後職員とは、会議や個別面談を通して改善に取り組んでいきたい。	他のスタッフ通しで意見交換できる形を整えていきたいと思う
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価は設けていない	今後第三者評価については検討していきます
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		ABAや強度行動障害などの研修を事業所内で行っている。	常勤職員とパート職員で研修の密度に違いがあるため、今後は差が生まれないような研修制度を構築していきたい
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムをホームページにUPしている	今後内容に見直しなどを行いながら、充実を図ってきたい
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		必要があれば検査用紙を利用しながら、保護者様とともに現状の確認と今後の展望を確認している	今後子どもたちの状態の変化に合わせた、支援ができるように支援を図ってきたい。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日常的に、子供たちの変化に関しては職員間で情報の確認や意見の統一が図れていると思っている。	常勤職員とパート職員で認識の密度に違いがあるため、今後は差が生まれないような体制を構築していきたい
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に関しては、職員間で共有できる会議の場を設けている。	常勤職員とパート職員で認識の密度に違いがあるため、今後は差が生まれないような体制を構築していきたい
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		Vineland-II 適応行動尺度を利用している。また、日頃の観察も行っている。	お子様全員にVineland-II 適応行動尺度を利用しているわけではないので、全体的に利用していきたいと思っている
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域を全利用者の支援内容に盛り込んでいる。その他の移行支援および地域支援・地域連携においては不足している	年齢層に幅があるため、今後はいろいろな方や事業所との連携などを行ってきたいと思う
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ミーティングなどを通して、職員同士で立案をしている。	活動内容など週間や月間の予定など大まかでも構築していきたい。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎週のプログラム内容などを検討しながら、取り組んでいる。	集団のプログラムに参加の難しい方もいらっしゃるため、小集団の活動も検討していきたい
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別でできる方と集団を苦手としている子供に対しては、状況に応じて支援しています。	集団のプログラムに参加の難しい方は、ご本人の状態に応じられる、スペースの確保を検討していきたい

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝のミーティングの時に、前日の振り返りや今日気を付けておきたいところなどを共通理解としている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	帰りの際には、職員間で今日の支援や気づいた点などの振り返りを行っている。	職員の勤務により、差が出ているため全体周知の機会を設けていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	記録を取っており、職員で振り返りを行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	最低でも、半年に1回は実施している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○	地域との交流に関しては弱いと思われるが、外出機会、創作活動、余暇に関しては、充足していると思っている	地域との交流をどのように設けていくかは今後検討していきたい。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	外出機会や調理実習などを主に通じて、自分の意見や参加内容など選択できる機会を設けている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	主に児童発達支援管理責任者が参加している	担当職員だけでなく、職員が状況を判断できるような環境を整えていきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	学校や福祉課などとは連携を取りながら対応している	今後必要と思われると思われるところとは、積極的に連携を図っていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	下校時間などは保護者からの情報提供で行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	現在は行っていない。相談員からの情報を参考にしています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	設立してまだ間がないため、その機会がない	今後そのような場面がある際は、情報共有を図っていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	現在は行っていない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	現在は行っていない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	参加できる時は参加しています	職員の出勤状況などにより、参加できないときもある。今後は出来るだけ参加できるように調整していきます
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	送迎時や面談時、日頃の連絡帳などで、お話をさせていただいている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	家族が参加できる研修会やペアレントトレーニングなどは現在実施していませんが、保護者会の中身によっては検討したいと思っています。	保護者会での意向としては、回数が多いのは難しいとのことで、研修会の内容などは今後検討していきます
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に説明を行っています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	事業所を見学に来られた際や契約の際に保護者の意向を確認しながら、計画書を作成するようにしています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	計画を説明しながら同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	子育ての悩みや将来について相談があれば、個別に対応している。	相談がないと悩みなどの拾い上げがないので、今後は、アンケートなども用いながら相談できる機会を広げていきたいと思えます
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○	現在保護者の方同士や兄弟を交えての交流機会を設けることは行っていません	兄弟が参加できるようなイベントなども今後検討していきます
41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	保護者からのご意見は普段から伺うようにしている。要望等いただいたときはその都度真摯に対応するように心がけている		

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		写真などを利用している。その際は、保護者様にご説明し同意をいただいている	インスタグラムなどはもう一度検討していきます
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に関しては、十分に配慮をしている。	写真などを多く利用しているので、研修などを定期的に行っていききたい
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		連絡帳では、写真付きでお知らせしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域の方と交流を持つような行事は行えていない	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは作成しているが、保護者の方への説明不足が感じられる。	契約時には説明しているが、説明不足を感じるため保護者会なので、再度説明を行います
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成しており、机上訓練を中心に行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		保護者の方のやり取りで、発作時の対応や投薬の情報など共有している	研修等でてんかんについての理解を深めていきたい
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者からの説明を受けながら対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画は立てているが、説明不足の面が否めなかった	今回のアンケートの結果から、説明不足の部分も感じたため、説明する場面などを増やしていきたい
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画は立てているが、説明不足の面が否めなかった	今回のアンケートの結果から、説明不足の部分も感じたため、説明する場面などを増やしていきたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日常的に危なかった場面などを共有できる時間を設けている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		面談や研修などを通じて防止に努めている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		計画を説明しながら同意を得ている	今回のアンケートの結果から、説明不足の部分も感じたため、研修回数などを増やしていきたい